

公益財団活動

取り組みの背景・考え方

Daigasグループの企業ボランティア活動として1981年(国際障害者年)に始まった「小さな灯」運動等で行ってきた福祉活動を、より組織的、継続的に発展させるために、大阪ガスと関係会社、サービスショップ協会、風呂販売協力会、配管工事協会、工友会協議会の362社が基金を拠出し、創業80周年を記念して大阪ガスグループ福祉財団を1985年10月に設立しました。その活動は、高齢者を対象とした地域福祉活動や大学・医療機関で行われている調査・研究に対する「助成事業」と、高齢者の健康の維持・増進を目的とした「健康事業」です。

また、大阪ガス国際交流財団は、1992年9月に大阪ガスが基本財産を全額拠出して設立し、2010年10月に、内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行しました。東南アジア、大洋州および南アジアの国々との相互理解を深め、国際親善に資することを目的に助成事業に取り組んでいます。

「高齢者向けの健康セミナー」をYouTube配信

2021年度ホームページのリニューアルに合わせて、動画コンテンツ「高齢者向けの健康セミナー」を制作、YouTube配信を開始しました。今後も高齢期の健康づくりに活用できる内容を毎年配信していきます。



動画コンテンツ「高齢者向けの健康セミナー」

高齢者福祉-(公財)大阪ガスグループ福祉財団

1985年にDaigasグループ各社の寄付で設立した(公財)大阪ガスグループ福祉財団は、「高齢者を対象とした福祉活動や調査・研究への助成事業」と「高齢者の健康維持・増進を目指す健康事業」を両輪に、近畿2府4県で活動しています。

2025年度の高齢者福祉助成は60件(700万円)、調査・研究助成は10件(757万円)、健康事業は106回実施し、参加者は6,380人でした。



健康事業：健康のつどい



助成事業：各年度の報告書

各活動の実績(1985年～2025年度累計)

(1) 高齢者福祉助成	3,228件	7億25百万円
(2) 調査・研究助成	694件	4億68百万円
(3) 健康事業	6,413回開催	458,510人参加

国際貢献-(公財)大阪ガス国際交流財団

東南アジア、大洋州地域および南アジアの国との友好と相互理解を深める

(公財)大阪ガス国際交流財団は、東南アジア、大洋州地域および南アジアの国との国際相互理解の促進と国際親善への寄与を目的として助成事業を展開しています。

2025年度、インドネシアでは、小中学校への教育機材助成、285人の学生・生徒への奨学金支給、3大学におけるエネルギー・環境分野の研究への助成、大学院生2人を対象とした日本での短期研修等の従来の助成に加え、2025年11月に発生したスマトラ島豪雨で被災した地域へ緊急助成を実施し、助成総額は約1,416万円となりました。マレーシアでは、英語教育支援、試験研究助成、大学生12人への奨学金支給など、計923万円を助成し、東ティモールでは20人の大学生・大学院生への奨学金に加え、大学での日本語コース再開を支援し、助成総額は約354万円となりました。

また、新規助成として、マレーシアと大阪の中学生による相互短期訪問とスリランカの大学への研究助成を開始し、それぞれ約299万円、約188万円を支給しました。

設立以来33年間の助成実績は総額6億7,021万円、奨学生数11,485人、助成対象研究テーマ493件となっています。今後も新たな活動、助成領域の拡大に取り組んでいきます。



スリランカ ワヤンバ大学での研究 東ティモール国立大学での贈呈式発表の様子

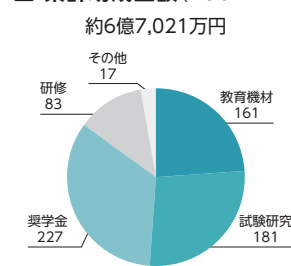


マレーシアと日本の中学生の相互交流の様子

■ 助成活動範囲



■ 累計助成金額(1992～2025年度)



単位：百万円 (公財)大阪ガス国際交流財団

■ 助成金の推多(単年度)

(単位:千円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育機材	1,973	2,115	2,410	2,436	3,984
試験研究	5,332	6,935	7,176	7,389	9,399
奨学金	8,512	9,564	12,589	10,866	10,887
研修	313	3,281	3,331	3,429	6,337
合 計	16,129	21,895	25,506	24,120	30,607